

年表(8)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
1999(平成11)	<p>▼倉吉パークスクエアで市が建設する交流プラザと修景施設の工事を開始、またアミューズメント施設の方針が決定▼本庁舎にエレベーターを設置し使用を開始、車いす利用にも配慮▼韓国羅州市とのより深い理解を目指して6カ月間の職員相互派遣を実施▼鳥取女子短大、四年制を視野に「国際文化交流学科」認可▼企業誘致に成果、日本圧着端子製造(株)生産技術センターの進出と、(株)エースバック倉吉工場の新工場増設が決まる</p>	<p>▼とっとり花回廊が県西部にオープン▼統一地方選、鳥取県知事に片山善博氏初当選▼介護保険認定申請がスタート▼景気対策の一環として地域振興券が交付される▼東海村の核燃料加工会社で国内初の臨界事故、被爆者死亡▼コンピューター2000年問題で対策に迫られる</p>
2000(平成12)	<p>▼倉吉パークスクエア、主な施設の完成、来春オープンに向け整備進む▼史跡法華寺畑遺跡に四脚門復元、相次いだ国の史跡指定の動き▼介護保険制度がスタート、同時に介護予防・生活支援事業を開始▼羅州(ナジュ)市との女性職員相互派遣、学芸員を韓国派遣、羅州市サッカー少年団来倉、交流と国際理解の進展▼鳥取女子短期大学が鳥取短期大学へ名称変更、男女共学、文部省より許可される▼国勢調査実施、5万人を下回る▼都市計画道路・東中学校公園線の開通、沿道土地区画整備事業が完了▼鳥取県西部地震が発生、被災地支援に職員等を派遣▼日本圧着端子製造(株)倉吉生産技術センター増設により雇用増が図られる▼市民参加で、第9次総合計画を策定▼北条湯原道路の早期完成へ朗報、市内和田～関金間が調査区間に格上げ</p>	<p>▼鳥取県西部地震で大きな被害▼シドニーオリンピックが開催され女子マラソンで高橋選手が金メダル▼高速バス乗っ取り事件▼新潟で不明女児9年2ヶ月ぶりに保護▼三宅島雄山・有珠山噴火▼介護保険制度スタート▼沖縄サミット開催▼2000円札デビュー▼韓国と北朝鮮が南北首脳会談▼米大統領選、接戦で異例の決着</p>
2001(平成13)	<p>▼倉吉パークスクエアが4月21日にオープンし、施設としては、図書館と交流・学習機能を備えた「交流プラザ」、1,500席の大ホールやセミナールームを備えた「倉吉未来中心」、高さ42メートルの「アトリウム」、鳥取県男女共同参画センター「よりん彩」があり、4月27日には「鳥取二十世紀梨記念館」がオープンし、7月1日には「市営温水プール」、商品や食事を提供する「食彩館」がオープンした▼大御堂廃寺跡が1月に国史跡に指定された(7世紀中頃の山陰地方を代表する初期の古代寺院跡)▼鳥取県中部地区市町村合併研究会が7月19日に設立▼県営内陸型工業団地の候補地として、8月に小鴨・蔵内地区を選定し、調査の実施をすることになった。10月にボーリング調査が行われ、その調査結果を基に開発するかどうかの判断がなされる▼倉吉市議会議員選挙を9月30日に実施し新議員21人が決定▼第17回国民文化祭が平成14年に鳥取県で開催されるのに伴い「プレ夢フェスタとっとり・総合フェスティバル」を10月14日に開催し、また市実施のプレ大会が8月～12月にかけて開催された▼白壁土蔵群周辺が「かおり風景100選」に認定される▼第53回全国人権・同和教育研究大会が鳥取市と倉吉市を中心とした中部地区で、11月24日～26日に開催▼ケーブルテレビによる中継放送が12月定例市議会で行われ、ケーブルテレビ加入世帯では、審議の様子をテレビを通して視聴できるようになった▼倉吉駅周辺地域を中部圏域の玄関にふさわしい交流・活動拠点とするための構想がとりまとめられた▼小・中学校一斉公開を実施し7月には、保護者や地域の人たちに授業参観を中心に、学校・学級経営の状況を見ていただき、11月には、「朝の全校一斉読書」の様子を公開した</p>	<p>▼市町村合併に伴う東郷湖週地域合併協議会を羽合・東郷・泊の3町村で10月に設置▼長引く不況は中部地区の縫製業やIT関連業に打撃を与えた▼狂牛病問題は畜産農家や消費者に大きな影響を与えた▼鳥取環境大学が4月に開学▼米子ーソウル便が4月に就航</p>

年表(9)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2002(平成14)	<p>▼国土交通省中国整備局主催の「第1回夢街道フォーラム」において町並みや道など歴史・文化資源を生かした地域づくりを支援する「夢街道モデル地区」に『八橋往来』(西岩倉町-河原町間)が認定された(1月26日)▼「市民の声が活きる市政」を掲げて長谷川新市政発足(4月)▼倉吉駅周辺整備事業のうち、上井羽合線沿道土地区画整理事業に着手(4月)▼倉吉観光案内所がふるさと物産館にオープン。観光ボランティアガイドのサービスを開始、倉吉市シルバー人材センター、倉吉観光ボランティアガイドグループ合わせて29人が、玉川沿いの白壁土蔵群、商家の町並みや酒蔵などを観光客にガイドする(4月)▼「市民と市長のふれあいコーナー」開設、同時に市長へのメッセージ、Eメール、ファクス、手紙等での意見・提言などを受付、市長が対応(5月)▼倉吉市長選挙公職選挙法違反での議員辞職により補欠選挙が行われ、12人の新議員が誕生した(5月～8月)▼倉吉市農業委員会委員一般選挙を実施、初めて女性委員2人が誕生した(7月7日)▼日本各地の女性みこしを集めた全国初のイベント「女みこし2002inくらよし」を倉吉パークスクエアで開催(8月3・4日)▼1市4町(倉吉市・関金町・三朝町・北条町・大栄町)による天神川流域合併協議会設立、新しいまちづくりがスタート(10月1日)▼第17回国民文化祭「とっとり2002 夢フェスタとっとり」開催。倉吉未来中心ほかを会場として、本市が主催する4事業「合唱祭、羽衣伝説フェスティバル、オペラ、全国民謡民舞祭」を開催(10月12日～11月3日)▼倉吉市中心市街地活性化計画の提言を受け、活性化に向けた取り組みが成徳地区で始まる。本市では、「倉吉市中心市街地活性化推進協議会」を設置し、実効性を重視した市独自の活性化計画としてまとめた(11月)▼「北条湯原道路」整備促進に向けての意見発表会を都市交流センター(関金町)で開催。女子高校生、青年団、OL、Iターン者、消防職員、病院事務長、バス会社所長、道の駅、トラック協会、梨栽培農家、観光農園、湯原観光協会、国民宿舎など300人が参加した(11月9日)▼民間国際交流の促進、鳥取県中部地区日韓親善協会による「日韓親善交流の翼」事業実施(11月18日～21日)▼旧倉吉町水源地ポンプ室・量水室の登録有形文化財への新登録の答申。本市が申請した旧倉吉町水源地のポンプ室と量水室が登録された。本市では「共同組合倉吉大店会」、「小川酒造主屋」、「高田酒造主屋、旧高田酒造酒造醸造所」に続く登録有形文化財(12月6日)▼選挙後の議会で政治倫理特別委員会を設置し、12月定例会で倉吉市議会議員政治倫理要綱を全会一致で制定した(12月)</p>	<p>▼宍道湖・中海淡水化事業の中止決定(12月)▼益田競馬55年の歴史に幕をとじた(8月)▼松江フォーゲルパークでオウム病(1月)▼長引く不況により、県は雇用促進対策に充てるため、県職員の給与、手当などをカットすることを決定(1月)</p>
2003(平成15)	<p>▼倉吉市議会議員政治倫理条例制定(3月)▼市民の生活相談…倉吉ひまわり基金法律事務所開設(3月)、市民生活相談室開設(11月)▼国民健康保険料引き下げ(4月)▼市営温水プール25m化及び利用料金引き下げ(4月)▼全国初、史跡大御堂廃寺跡から塑像螺髪型の型が出土(5月)▼重要伝統的建造物群保存地区の白壁土蔵群で火災が発生し、元帥酒造が半焼した。市民の復興支援活動始まる(5月)▼ホ-コ-精密(株) (本社…大阪府寝屋川市)が、倉吉市巖城に進出したことにより4年ぶりの企業誘致となった(6月)▼「山下清展」-石版画と出会ったまち- 倉吉博物館で過去最高の入館者37,075人を記録(6月)▼倉吉市制施行50周年記念事業・劇団四季ミュージカル「青い鳥」(7月)・財津和夫コンサート(9月)・記念式典(10月)・羅州市姉妹都市結縁10周年記念式典(10月)・建築家安藤忠雄氏の講演会(10月)・「笑点」公開録画(10月)・人権、同和問題シンポジウム(11月)▼市民と行政による協働ボランティア活動・「たからや」の活用について「協働プロジェクトたからや」を設置(7月)・倉吉市営野球場フェンス塗装(8月)・落書きクリーン作戦(12月)▼社小学校エレベーター棟完成(9月)▼倉吉市役所「ISO14001」認証取得に取り組む(9月)▼故 石谷文海氏と佐渡ヶ嶽慶兼氏に倉吉市名誉市民の称号を贈る(10月)▼戸籍事務のコンピュータ化による業務開始(11月)▼天神川源流の森整備始まる(11月)▼構造改革特区として「住民に身近な市町村議会特区」・全国規制改革要望として、「住民の直接請求権の拡大」を提案(11月)▼天神川流域合併協議会解散・新たに関金町との合併に向けた取り組みが12月に始まり、平成16年1月19日～31日までの期限で、「はがき回答」による市町村合併住民意向調査を実施…「三朝町は、単独存続」・「北条町、大栄町は2町で合併」▼上余戸住宅リニューアル(2棟のうち1棟は電化住宅)(12月)▼地方開発事業団方式による内陸型工業団地凍結(12月)</p>	<p>▼羽合、東郷、泊の3町村は平成13年10月に東郷湖周地域合併協議会を設立し、平成15年12月5日には合併協定書の調印が行われ、平成16年10月1日に新町「湯梨浜町」が誕生する▼東伯町、赤碕町は、平成15年1月に東伯西部合併協議会を設立し、平成16年2月には合併協定書の調印。新町は「琴浦町」となる▼青谷羽合道路(青谷町青谷～羽合町長瀬13.2キロ)が3月21日に開通</p>

年表(10)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2004(平成16)	<p>▼倉吉市・関金町合併に向けての準備進む…市町村合併住民意識調査実施、回答率65.25%、推進する75.2%(1月)・「倉吉・関金合併協議会」を設置(4月)・合併に伴う電算総合システムの統合(7月)・倉吉市・関金町合併協定調印式、倉吉市議会・関金町議会議決(9月)▼企業誘致・地元企業増設続く…(株)コーンサポート進出決定調印式(1月)・大虎運輸(株)山陰営業所、西倉吉工業団地に進出決定(3月)・(株)テクノメタル、市内大谷に新工場建設決定(6月)・(株)セイコ製作所、西倉吉工業団地に第2工場増設決定(7月)▼倉吉市役所ISO14001の認証を取得(3月)▼津原地区農業集落排水施設供用開始(4月)▼打吹公園開園100周年記念事業を開催…打吹公園開園100周年記念大茶会(4月)・第4回日本海未来ウォーク(5月)・NHKテレビ「BS日本のうた」公開録画(5月)▼博物館開館30周年を迎える…倉吉博物館30周年記念事業、原田泰治が描く日本の童謡・唱歌100選(5月・6月)・倉吉博物館入館者100万人▼高城小学校プール改築(6月)▼鳥取県に二十世紀梨が導入されて100年・松戸市倉吉市交流都市宣言「梨(あり)の実交流宣言」(7月)▼市民と行政の協働…協働によるまちづくり・西倉吉工業団地内の街路樹の植樹作業(6月)・「特定非営利活動法人たかしる」による過疎地有償輸送事業がスタート(8月)・「シビックセンターたからや」オープン、指定管理者にNPO法人未来(9月)▼倉吉パークスクエアにぎわう(市施設入館者記録達成)…倉吉市営温泉プール来場20万人突破(7月)・倉吉市立図書館貸出者数30万人突破(8月)▼日本へ台風多数上陸、倉吉市にも被害をもたらす…台風16号(8/30)、18号(9/7)、21号(9/29)、23号(10/20)の台風は倉吉市にも家屋、農産物に多数の被害をもたらす▼伝統的建造物群保存地区建物火災跡地の復興工事着手(10月)▼宝くじスポーツフェア”ドリームベースボール”開催(11月)▼市役所窓口開庁時間延長、毎週木曜日(11月)▼倉吉・関金～岡山空港・岡山駅高速バス30年ぶりに運行開始(12月)▼情報化政策進む…ケーブルテレビ未整備地区解消事業スタート(12月)</p>	<p>▼平成の大合併で県内に4新市町が誕生。東伯町・赤碓町による「琴浦町」(9/1)、羽合町・東郷町・泊村による「湯梨浜町」、西伯町・会見町による「南部町」(10/1)、鳥取市・国府町・福部村・河原町・用瀬町・佐治村・気高町・鹿野町・青谷町による新「鳥取市」が誕生し山陰初の20万人都市となった(11/1)▼中海の県境をまたぐ臨湾道路の江島大橋(全長1,446.2m・最頂部高さ44.7m)が開通(10月)▼オリンピックが生誕の地アテネで開催され、日本は史上最多の金16個、銀9個、銅12個の計37個のメダルを獲得(8月)▼新潟県中越地方を震源とするM6.8の地震が発生、40人が死亡、約3,000人が負傷(10月)、インドネシア・スマトラ島沖でM9.0の史上最大級の地震が発生、死者・不明者は14,000人を超えた(12月)▼鳥インフルエンザが東南アジアを中心に猛威を振るい、日本産業にも大打撃を与えた▼イラク治安部隊などを標的としたテロが多発、イラク情勢が混迷▼プロ野球界で近鉄とオリックスの合併、楽天参入による50年ぶりの新球団誕生、ソフトバンクのダイエー買収など大再編。再編をめぐる選手会は史上初のストライキを決行(9月)</p>
2005(平成17)	<p>▼倉吉市・関金町合同成人式の開催(1月)▼倉吉市・関金町合併…昭和30年5月の灘手村との合併以来50年ぶりの市町村合併(3月)、「倉吉・関金新発見伝」を語る(3月)、『BSカラオケ塾』公開録画(4月)、市町村合併記念式典・市民芸能文化フェア(5月)▼西倉吉消防署が生田に新築▼企業誘致や地元企業増設続く…(株)セイコ製作所・西倉吉工業団地に工場建設開始(1月)、(株)エバルス・西倉吉工業団地に進出(9月)、(株)テクノメタル・大谷に第2工場完成(10月)、倉吉尾池工業(株)・新工場完成(11月)▼ケーブルテレビ利用可能エリア広がる…第1期CATV未整備地域解消事業完成 整備率84%→94%(3月)、第2期CATV未整備地域解消事業着手(11月)▼市の課題解決に向け、各種条例制定…「高齢者虐待防止条例」制定(3月)・「男女共同参画推進条例」施行(4月)・「倉吉市落書き防止条例」制定(9月)▼「倉吉市次世代育成支援行動計画」策定(3月)▼集落排水処理施設の供用開始…整備完了に伴う処理場の運転開始▼防災センター「くら用心」オープン(5月)▼アスベスト問題…アスベスト問題が急速に全国的な広がりを見せ、社会問題化。当市でも相談窓口を設置、市有施設のアスベスト使用状況調査などを実施(6月～)▼国際交流、韓国羅州市などと市民レベルの交流…シニアサッカー交流(7月)、少年硬式野球交流(8月)、鳥取短期大学生が羅州大学訪問(9月)、未来ウォークと韓国国際ウォーキング協会の相互交流(5・10月)、EU児童青少年演劇日本縦断招へい公演2005IN鳥取開催(8月)▼国内交流も盛んに行われる…千葉県松戸市、千葉県館山市、奈良県大淀町とそれぞれ交流、岡山県真庭市長との会談(12月)▼各小学校区に地域ぐるみの学校安全組織が立ち上がる…パトロールなど安全活動開始(9月)▼倉吉市打吹地区「美しいまちなみ大賞」受賞(10月)▼合併後発の市議会議員選挙…新議員21人が決まる(10月)▼経営再建中のダイエー唯一の店舗「倉吉サンピア」が閉店(10月)▼倉吉駅周辺整備進む…上井都市再生住宅(仮称)着工(9月)、上井公民館・上井児童センター建設工事着工(11月)▼新しく「倉吉観光案内所」がオープン(12月)▼徳島県吉野川市と災害時相互応援協定締結(12月)▼倉吉市出身の先代・佐渡ヶ獄親方(元横綱琴桜)が偉大な功績を残して日本相撲協会を定年退職(11月)</p>	<p>▼県内では倉吉市のほか、伯耆町、新大山町、新米子市、八頭町、10月には大栄町と北条町が合併して「北栄町」が誕生、3市27町村を巻き込んだ「平成の大合併」は一段落。昨年合併した鳥取市は10月に山陰初の特例市に移行した▼湯梨浜町の方面地区のウラン残土の一部が米国に搬出され、放置発覚から18年目にしてようやく動き始めた▼衆議院総選挙では小泉自民党が296議席の歴史的な大勝、県内でも自民党公認候補が当選した(9月)▼尼崎市のJR西日本脱線事故により107人が死亡(4月)▼耐震強度の偽装で不安が広がった▼アスベスト(石綿)被害が深刻になった▼少年、少女をめぐる残虐な事件が相次いだ▼小泉首相の靖国参拜で中韓との関係が冷却した▼ロンドン、バリ島などで各地で大規模テロが続発▼パキスタン北東部の大地震で犠牲者は7万人を超えた(10月)</p>

年表(11)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2006(平成18)	<p>▼倉吉市長選挙 長谷川市政2期目スタート…任期満了に伴う倉吉市長選挙が告示され、現職の長谷川稔市長が立候補し、無投票で再選(3月)</p> <p>▼ケーブルテレビ網のカバー率が100%に…倉吉市全域の家庭でケーブルテレビ網に接続できる環境が整備される(3月)</p> <p>▼鳥取キタロウズ球団が設立…山陰初の社会人硬式野球クラブチームが設立し、総監督は川口和久さん、監督は加藤伸一さん。ホームグラウンドは倉吉市宮開金球場(4月)</p> <p>▼若者の定住化促進基金を創設…平成18年度からスタートした第10次総合計画に掲げる「若者の定住化促進」の実現に向けて創設(5月)</p> <p>▼倉吉駅周辺まちづくり事業 着々と進む…上井公民館・上井児童センター完成(6月)、市営住宅サンテラス大平完成(11月)</p> <p>▼夏の甲子園出場 倉吉北高…第88回全国高校野球選手権鳥取大会の決勝戦は、倉吉北高と倉吉東高の対戦となり、倉吉北高が4年ぶり6度目の出場を果たす(11月)</p> <p>▼ペットボトル飲料水「くらしの水」を製造…倉吉市水道水の原水(地下水)のおいしさをPR(8月)</p> <p>▼日本の歴史公園100選に決定…都市公園法施行50周年記念事業として全国から公募され、「伯耆国分寺跡・法華寺畑遺跡歴史公園」が選定された(10月)</p> <p>▼第19回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取2006」倉吉市種目別大会…年齢別バドミントン、壮年ボウリングの2種目を実施(10月)</p> <p>▼鴨川中学校 屋内運動場改築事業…鉄筋造平屋建、延床面積1,338㎡</p>	<p>▼JR伯備線で特急にはねられ保線員3人死亡(1月)▼寝台特急「出雲」廃止(3月)、鳥取一名古屋空の便も(7月)▼三徳山開山1300年で御幸復活(4月)、世界遺産暫定リスト候補に推薦(11月)▼全国スポレク祭 鳥取県内で華やかに開催(10月)▼北朝鮮核実験で鳥取県内緊迫 境港市は元山市との友好提携破棄、国連が制裁(10月)▼松本京子さん(米子市)拉致被害者認定(11月)▼妖怪イベント相次ぎ、水木しげるロード年間入り込み客数過去最高、鬼太郎フェリー就航▼湯梨浜町のウラン残土、れんが加工で決着▼飲酒運転撲滅運動、県内でも盛り上がる、行政は処分厳罰化▼片山義博県知事が来春の知事選不出馬表明(12月)▼ホリエモン、村上代表らヒルズ族の逮捕(1月)▼トリノ五輪で荒川静香 唯一の金メダル「イナバウアー」で国民を魅了(2月)▼マンション耐震偽装で姉歯元建築士ら逮捕(4月～5月)▼秋篠宮家に男子誕生 皇室として41年ぶり(命名悠仁さま)(9月)▼安倍政権発足(9月)▼自治体の官製談合で県知事逮捕相次ぐ(10月～12月)▼いじめ自殺、未履修など教育現場混乱▼改正教育基本法、防衛庁の「省」昇格法成立(12月)▼日銀、ゼロ金利解除景気「いざなぎ」超え▼ジャワ島で大地震(5月、7月)▼原油価格高騰一時78ドルに(7月)▼サッカーW杯イタリア優勝(7月)▼米中間選挙で共和党敗北 国防長官更迭(11月)▼イラク内戦状態 フセイン元大統領に死刑判決(11月)</p>
2007(平成19)	<p>▼小鴨小学校校舎改築事業…鉄筋コンクリート造3階建、延床面積4,778㎡(1月)</p> <p>▼「伯耆の国国庁跡、国分寺跡、陣屋町倉吉の町並み」が美しい日本の歴史的風土100選に選定(1月)</p> <p>▼子育てを支援する事業を行う拠点施設として、倉吉市子育て総合支援センター「おひさま」を開設(5月)</p> <p>▼子育て世帯の買い物を協賛店が割引などで応援する若者子育て買い物応援事業開始(5月)</p> <p>▼伝統的建造物群保存地区の火災跡地での取り組みや、淀屋牧田家などの歴史的な資源をいかしたまちづくりが評価され、「まち交大賞プロセス賞」を受賞(6月)</p> <p>▼倉吉市庁舎、国登録有形文化財に登録(7月)</p> <p>▼商店街のアーケード撤去…東仲町から西町にかけての本町通アーケードが45年間の役目を終えて撤去された(7月)</p> <p>▼国民宿舎グリーンスコーレせきがねの管理運営を指定管理者・(株)レパストに委ねることに決定(8月)</p> <p>▼第53代横綱琴櫻、先代佐渡ヶ嶽親方(鎌谷紀雄さん)死去(8月)</p> <p>▼旧牧田家住宅(主屋)保存修理工事に着手(10月)</p> <p>▼「江戸、明治、大正、昭和」の懐かしいもの、めずらしいものを各店舗に展示し、街全体を展示会場とする「倉吉レトロまちかど博物館」に取り組む</p> <p>▼上灘中央交流センター建設に着手(11月)</p>	<p>▼各地で食品偽装発覚 「不二家洋菓子」から「白い恋人」「赤福」「船場吉兆」など賞味期限の改ざん、原材料偽装が続く、食の安全、信頼が大きく揺らぐ▼年金記録漏れ5,000万件判明(2月)▼JA鳥取中央とJAとうはくが合併(3月)▼国道313号の地域高規格道路「北条倉吉道路」が開通(3月)▼新潟中越沖地震で死者11名、柏崎刈羽原発でトラブル多発(7月)▼参院選で自民党が歴史的敗北(7月)▼和牛博覧会が米子市崎津団地をメイン会場に開催(8月)▼安倍首相突然の辞任、福田内閣発足(9月)▼民営郵政スタート(10月)▼テロ対策特別措置法期限切れ、海上自衛隊インド洋から撤退(11月)▼米サブプライム問題で世界の経済、金融に混乱</p>

年表(12)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2008(平成20)	<ul style="list-style-type: none"> ▼小鴨小学校屋内運動場竣工(3月) ▼小学生を対象とした医療費助成制度を開始(4月) ▼くらよ元気体操完成。普及員の養成を開始(7月～) ▼琴桜・赤瓦観光バス回転広場及び琴桜・赤瓦観光駐車場がオープン(8月) ▼伯耆しあわせの郷、せきがね湯命館など指定管理者を公募により決定(8～10月) ▼上灘中央交流センター(上灘公民館)完成(10月) ▼自主防災都市宣言(10月) ▼日圧スーパーテクノロジーズ(株)西倉吉工場の増設に伴う協定書調印式(10月) ▼市制施行55周年記念式典を開催。市民投票によって制定された市の鳥「メジロ」発表(10月) ▼市指定有形文化財旧牧田家住宅(主屋)保存修理工事完成(11月) ▼市営温水プール利用者50万人達成(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ▼中国製ギョウザで中毒、中国産食品のトラブル相次ぐ(1月)▼後期高齢者医療制度スタート。保険料の天引きなどに批判(4月)▼米サブプライム住宅ローン問題に端を発した金融危機が拡大、世界不況に突入。国内経済も不況に突入。株価急落、円高騰 ▼原油高騰。県内でもガソリン過去最高価格に、市民生活直撃(上半期)▼鳥取スイカ、アラブ首長国連邦のドバイに初出荷。一玉3万円の高値で取引(6月) ▼三朝町の温泉旅館・万翠楼、総合衣料店・ホテイ堂など老舗企業破綻相次ぐ▼4人の日本人学者がノーベル物理学賞と科学賞を受賞(10月)▼米大統領選でオバマ氏勝利。米史上初の黒人大統領誕生(11月)
2009(平成21)	<ul style="list-style-type: none"> ▼定住自立圏構想 中心市宣言。総務省から「定住自立圏構想」に係る先行実施団体の決定を受け、中心市宣言を行う(3月) ▼定額給付金・子育て応援特別手当給付事業の給付を県内4市のトップを切って実施(3月) ▼小田橋西詰のJR山陰線と県道の立体交差化。踏切事故の防止が図られる(3月) ▼第31回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会倉吉大会開催。全国各地の伝建地区保存会メンバー(54市町村・29住民団体・合計219人)が参加(5月) ▼国道179号跨線橋周辺の4車線化が完成。慢性的な交通渋滞の解消、拡幅された歩道スペースにより歩行者の安全が確保(9月) ▼トキめき新潟国体陸上競技でジュニア選手が活躍…柏村亮太選手(倉吉北高)が少年男子A・ハンマー投げで日本ジュニア新、高校新、大会新の記録で優勝。萩原くらら選手(河北中)が少年少女共通・走り高跳びで高校生に交じって第2位の成績を収める(10月) ▼菜の花プロジェクト…7月に行われた「倉吉小・中学生淀屋サミット」での提案により、地区公民館の協力を得て、市内全小中学生が天神川(小鴨川)の河川敷を中心に種まきを行う(10月～11月) ▼倉吉市議会議員選挙…任期満了に伴う一般選挙が行われ、女性議員2人を含む20人の議員が当選(10月) ▼飛龍閣改修工事完成。屋根の葺き替え、トイレ改修、スロープの設置(バリアフリー化)工事が行われた(10月) ▼新斎場建設問題で出直し市長選…新斎場建設の「民意を問う」との市長辞職に伴い、選挙が行われ長谷川市長が再当選(11月) ▼新型インフルエンザの発症・重症化の防止に向け、ワクチン接種費用の一部助成を開始(11月) ▼倉吉駅橋上化事業 仮駅舎開業…仮駅舎に業務が切り代わり、平成23年1月の新駅開業に向けて事業が本格的に始まる(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ▼第2回ワールド・ベースボール・クラシックで日本が二連覇(3月)▼地方の高速道路が土日祝日、上限千円の乗り放題となる割引がスタート(3月)▼鳥取・因幡の祭典が開幕。「世界砂像フェスティバル」には35万人以上が来場(4月)▼新型インフルエンザが大流行、死者も増加(5月)▼境港と韓国・東海(トンヘ)、ロシア・ウラジオストクを結ぶ環日本海定期貨客船が就航(6月)▼米歌手マイケル・ジャクソンさん急死(6月)▼裁判員裁判がスタート(8月)▼衆院選で民主党圧勝、政権交代で鳩山政権誕生(9月)▼世界ジオパーク 国内候補地に鳥取、兵庫、京都の3府県にまたがる山陰海岸が選定(10月)▼円高。デフレ宣言。日航経営危機など企業業績悪化(11月)▼与党議員と民間有識者らが「仕分け人」となり、来年度予算要求事業の事業仕分けを行う(11月)

年表(13)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2010(平成22)	<p>▼定住自立圏形成協定の締結。市町同士の絆を強め、役割分担と連携により、中部圏域の住民生活に必要な機能の確保のため、中部圏域の1市4町で協定を締結(3月)</p> <p>▼「倉吉を元気に、若者に夢を」を掲げて石田新市政発足(4月)</p> <p>▼市立図書館が、平成22年度子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰受賞(4月)</p> <p>▼平成13年の開館以来、市立図書館の来館者300万人突破(7月)</p> <p>▼倉吉市地域産業振興ビジョンの策定。「倉吉市くらしよし産業元気条例」に基づきビジョンを策定(8月)</p> <p>▼山梨県で開催された小学生カヌー大会で、関金B&Gカヌー教室クラブ生2人が日本一に(8月)</p> <p>▼「小川氏庭園」の国登録記念物(名勝)の登録。県下で2件目の登録(8月)</p> <p>▼白壁土蔵群周辺で韓国ドラマ「アテナ:戦争の女神」のロケが実施された(9月)</p> <p>▼「倉吉の水」のペットボトルラベルリニューアル。倉吉特産の「倉吉緋」をイメージしたレトロなデザインになった(10月)</p> <p>▼石田市長が、「日韓親善交流の翼～羅州市訪問事業～」で、国際姉妹都市である大韓民国羅州市を訪問し、交流宣言を取り交わした(11月)</p> <p>▼倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区の範囲が拡大。平成10年に選定されていた打吹玉川地区(約4.7ヘクタール)の西側約4.5ヘクタールが追加選定された(12月)</p>	<p>▼鳥取県東部と関西圏を結ぶ鳥取自動車道の河原IC～鳥取IC間9.7キロが開通(3月)▼宮崎県で口蹄疫の被害が拡大。約29万頭の家畜が殺処分された(4月)▼菅内閣誕生。普天間移設問題等で、迷走を続けた責任を取り、鳩山首相は辞任した(6月)▼小惑星探査機「はやぶさ」が、7年ぶりに地球に帰還。月以外の天体との往復は世界初の快挙(6月)▼観測史上最高の猛暑。熱中症多発で死者も出た(8月)▼余部鉄橋、約100年の歴史に幕。JR山陰本線の余部鉄橋からコンクリート製の余部新橋りょうへの架け替え工事が完了し、併用開始(8月)▼山陰海岸ジオパークの世界加盟決定。鳥取市の白兔海岸から京都府京丹後市の経ヶ岬までの東西約110キロ、南北30キロの山陰海岸が、世界ジオパークネットワークに加盟(10月)▼片山前鳥取県知事が、総務相に就任(9月)▼チリ鉱山落盤事故。作業員33人が地下約700メートルに閉じ込められ、69日ぶりに全員を救出(8月～10月)▼ガイナレ鳥取、JFLで初優勝。来季からのJリーグ加盟が正式に承認された(11月)▼ノーベル化学賞を根岸英一氏・鈴木章両氏が受賞(12月)▼ドラマ「ゲゲゲの女房」効果で水木ロードに300万人超(12月)</p>
2011(平成23)	<p>▼倉吉駅新橋上駅舎が完成、市道倉吉駅南北線も開通(1月)</p> <p>▼改正教育基本法に基づき、10年後の倉吉の教育を見据え、今後5年間に取り組むべき教育振興施策を示す計画を策定(2月)</p> <p>▼新たな時代に対応したまちづくりを進めるため、「くらしよしふるさとビジョン」(第11次倉吉市総合計画)を定める(3月)</p> <p>▼未曾有の大災害となった東日本大震災の被災地に給水支援や行政支援のため市職員36人、教員2人を派遣(3月)</p> <p>▼地域高規格道路『北条湯原道路』のうち「倉吉関金道路」が都市計画決定(5月)</p> <p>▼尾池工業株式会社は、鳥取県および本市との間で、鱗片状蒸着微粉(リーフパウダー)の事業拡大のための工場増設に伴う協定を締結(8月)</p> <p>▼台風12号・15号により市内各地で土砂崩れや床上・床下浸水等の被害が多発。田畑の冠水公共交通の運休など大きな被害が発生(9月)</p> <p>▼鳥取市で開催された「第31回全国豊かな海づくり大会」へのご臨席とあわせて地方事情ご視察のため、天皇皇后両陛下が倉吉市に行幸啓(10月)</p> <p>▼倉吉駅北口広場オープン(10月)</p> <p>▼エキパル倉吉観光案内所・行政サービスコーナー・くらしよし駅ヨコプラザがオープンし、観光情報の発信や特産品の販売、住民票などの即時交付等、利便性が飛躍的に向上(11月)</p> <p>▼「水と緑と文化のまちづくり」を基本とする諸事業を実施し、本市の産業、経済、教育の進展に大きな功績を残された元倉吉市長牧田実夫さん(故人)が名誉市民に決まる(12月)</p> <p>▼倉吉市のイメージキャラクターのデザインが決定(12月)</p>	<p>▼年末から降り続いた大雪の影響により、国道9号線では約1千台の車が渋滞。港では漁船262隻が転覆、沈没した(1月)▼3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源とした震度7、M9と日本観測史上最大規模の地震により津波が発生。その震災に伴い、東京電力福島第一原発事故が起きる(3月)▼ガイナレ鳥取がJ2初参戦(4月)▼三洋電機が事業再編に伴い、大規模な配置転換と人員削減が進められ、県内で約400人が離職する事態へと発展(4月)▼ドイツで行われた第6回女子ワールドカップで、日本代表「なでしこジャパン」が初優勝(7月)▼野田内閣誕生(8月)▼中東に民主化の波。リビアの最高指導者ガダフィ大佐が反体制派との戦闘で死亡(10月)▼欧州の財政危機拡大、政権交代相次ぐ(11月)▼島根原子力発電所を運転する中国電力と県、境港市、米子市が原発安全協定を締結(12月)▼北朝鮮の最高指導者、金正日総書記が急性心筋梗塞により死去。69歳(12月)</p>

年表(14)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2012(平成24)	<p>▼鳥取県外の企業による業務拡大などを目的とする本市への進出が4件決定し、協定書に調印(1月:(有)ワールドファーム、7月:(株)ウッドプラスチックテクノロジー、11月:(株)カインズ、12月:(株)アイ・オー・プロセス)</p> <p>▼地震や風水害などの大規模災害発生時に迅速に生活・救援物資等を確保したり、自治体間での相互支援・応援を行うことができるよう、災害に関する協定を締結(1月:(株)ポプラ、2月:千葉県松戸市、9月:千葉県館山市、10月:山陰都市12市、12月:鳥取短期大学・倉吉北高等学校・JA鳥取中央)</p> <p>▼小・中学校の適正配置などに関する議論を開始(2月:倉吉市教育委員会から諮問を受け、倉吉市学校教育審議会が「小・中学校の適正配置等について」として教育長に答申、4月-8月:教育委員会が市内14小学校区での地区説明会を開催、11月:市民シンポジウムを開催)</p> <p>▼平成23年12月にデザインが決まった倉吉市のイメージキャラクターの愛称が「くらすけくん」に決定(2月)</p> <p>▼学校給食センターの調理業務を民間委託(4月)</p> <p>▼上灘中央交流促進事業が完了し、竣工式を開催(4月)</p> <p>▼JR倉吉駅がグランドオープン(6月)</p> <p>▼陸上競技場がリニューアルオープン(6月)</p> <p>▼倉吉市のイメージキャラクター「くらすけくん」が住民登録(7月)</p> <p>▼片岡鶴太郎さんが倉吉市観光大使に(8月)</p>	<p>【海外】</p> <p>▼英エリザベス女王の即位60年(2月)▼ミャンマー議会補選でスー・チー氏当選(4月)▼金正恩氏が朝鮮労働党第1書記に(4月)▼露大統領にプーチン首相が当選(5月)▼国連高官がシリアが内戦下にあるとの見解を示す(6月)▼スペインがユーロ圏に金融支援要請、欧州の財政・金融危機続く(6月)▼NASA無人探査車が火星に着陸(8月)▼大型ハリケーン「サンディ」、米で死者多数(10月)▼米大統領選でオバマ氏が再選(11月)▼中国共産党総書記に習近平氏(11月)</p> <p>【国内】</p> <p>▼金環日食、932年ぶり広範囲観測(5月)▼東京スカイツリー開業(5月)▼地下鉄サリン事件で特別手配の逮捕によりオウム捜査終結へ(6月)▼ロンドン五輪、史上最多のメダル38個(7月-8月)▼政府が尖閣諸島国有化のため、購入費20億5000万円の支出を閣議決定(9月)▼ノーベル生理学・医学賞に山中教授(10月)▼中央道トンネルで崩落、9人死亡(12月)▼第46回衆院選が投票され、自民党・公明党が圧勝し、3年3か月ぶりの政権奪還。参院で法案が否決されても衆院定数の3分の2以上の賛成で再可決、成立させることが可能となった(12月)▼安倍内閣誕生。首相再登板は、吉田茂氏以来、戦後2人目(12月)</p>
2013(平成25)	<p>▼昨年に引き続き、県外企業の本市進出が2件決定(2月:廣川マテリアル(株)、4月:(株)トンボ)</p> <p>▼内閣府が24年度に行った「全国自治体の子育て支援施策に関する調査」において、倉吉市の子育て支援が、先進的取組事例として報告された(3月)</p> <p>▼防災行政無線システムが供用開始(4月)。それに伴い戸別受信機を全戸配布。また、本市と周辺4町、「湖東定住自立圏」を構成する滋賀県彦根市など周辺4町とで、災害時相互支援協定を締結(10月)。社会福祉施設等と要援護者の緊急受け入れに関する協定を締結(11月)</p> <p>▼河北中学校が、旧倉吉産業高校敷地に移転(4月)</p> <p>▼摩瑠山斎場に代わり、鳥取中部ふるさと斎場(円谷町)が供用開始(4月)</p> <p>▼国道313号「倉吉道路」倉吉IC～倉吉西IC間(3.3km)が開通(6月)</p> <p>▼市制施行60周年を記念し、吉本新喜劇の記念公演(7月)、2,000枚限定オリジナルナンバープレートを交付(7月)、打吹公園に80本の桜の記念植樹(11月)を行った。</p> <p>▼関金温泉若女将が着任(7月)</p> <p>▼任期満了に伴う市議会議員選挙が実施され、新たな市議会議員が決定。今回から定員数が3名減となり、17人となった(10月)</p> <p>▼せきがねさいとりさし保存会が地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞(11月)</p>	<p>【海外】▼オバマ米大統領の2期目スタート(1月)▼露に隕石落下、1200人以上負傷(2月)▼中国共産党の習近平総書記を国家主席に選出(3月)▼ローマ法王に初の中南米出身枢機卿(3月)▼サッチャー元英首相が死去(4月)▼米ボストンマラソンのテロで3人死亡(4月)▼米英紙報道で米当局の通信監視が発覚(6月)▼英王子の妻キャサリン妃が男児出産(7月)▼猛烈な台風がフィリピン直撃、死者・行方不明者約8000人(11月)▼中国で大気汚染による濃霧が過去50年で最多と判明(11月)</p> <p>【国内】</p> <p>▼安倍首相、TPP交渉参加を表明(3月)▼長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に国民栄誉賞(5月)▼富士山が世界文化遺産に決定(6月)▼参院選で自民、公明両党が過半数獲得、ねじれ解消(7月)▼楽天の田中投手が連勝の新記録(8月)▼2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定(9月)▼伊豆大島で土石流災害、死者35人(10月)▼消費税率8%への引き上げ決定(10月)▼ホテルなどで食材偽装の発覚相次ぐ(10月)▼楽天が初の日本一(11月)</p>



年表(15)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2014(平成26)	<p>▼余戸谷町水源地にある国登録有形文化財旧倉吉町水源地ポンプ室の保存修理工事が完了(2月)</p> <p>▼旧倉吉老人福祉センターを「倉吉福祉センター」として建て替え、倉吉市社会福祉協議会の事務所が移転(4月)</p> <p>▼新しい防災拠点として「倉吉市防災センター」が福守町にオープン(4月)</p> <p>▼任期満了に伴う倉吉市長選挙が告示され、現職の石田耕太郎市長が立候補し、無投票で再選し、石田市政2期目がスタート(4月)</p> <p>▼富士基礎機械株式会社・株式会社モリタ製作所・株式会社グッドスマイルカンパニーが、同社・県・市との協定書の調印式を行う(4月・4月・6月)</p> <p>▼「ふるさと学習」をテーマに倉吉市の小中学校で土曜授業が開始(5月)</p> <p>▼倉吉西高等学校弓道部がインターハイで男女そろって団体優勝(8月)</p> <p>▼里見忠義公伯耆国倉吉入封400年・「南総里見八犬伝」刊行200年記念関連行事を開催</p> <p>▼総合的な人口減少対策に着手するため「倉吉市未来いきいき創生本部」が設置される(10月)</p> <p>▼倉吉市出身の人間国宝・大坂弘道さんを顕彰する特別展「人間国宝 大坂弘道展」を開催。開催を記念し、同氏から作品の寄贈を受ける(10月)</p> <p>▼学校法人藤田学院と地域が一体となって準備を進めていた山陰発の4年制単科看護大学「鳥取看護大学」設置が認可される(10月)</p>	<p>【海外】</p> <p>▼ロシアが「クリミア共和国」を国家承認、編入(3月)▼韓国で旅客船「セウォル号」が沈没(4月)▼ウクライナでマレーシア航空機が撃墜され298人が死亡(7月)▼エボラ出血熱でWHOが緊急事態宣言(8月)▼勢力を拡大する「イスラム国」に米軍がイラクで空爆開始(8月)▼香港で行政長官選挙の民主化を求めるデモ(9月)▼英北部スコットランドが住民投票で英残留を決定(9月)▼米とキューバが国交正常化交渉開始へ(12月)▼パキスタンのマララさんらがノーベル平和賞受賞(12月)▼北朝鮮が映画会社にサイバー攻撃(12月)</p> <p>【国内】</p> <p>▼ソチ五輪で日本が金1、銀4、銅3を獲得(2月)▼消費税8%がスタート(4月)▼「富岡製糸場」が世界文化遺産に登録される(6月)▼STAP細胞論文に改ざんなど不正が発覚し論文が撤回される(7月)▼広島市北部の土砂災害で74人死亡(8月)▼「昭和天皇実録」が完成(8月)▼御嶽山噴火で死者57人、行方不明者6人(9月)▼全米テニスで錦織圭が準優勝(9月)▼iPS細胞を用いた世界初の再生医療が行われる(9月)▼高円宮家の典子さまが出雲大社で結婚式(10月)▼青色LEDを開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏がノーベル物理学賞受賞(10月)</p>
2015(平成27)	<p>▼市議会本会議において、県内市町村議会で初となる手話通訳を実施(3月)</p> <p>▼倉吉市と旧関金町の合併10周年記念式典を開催(3月)</p> <p>▼山陰初となる4年制単科看護大学「鳥取看護大学」が開学し、第1期生80人が入学(4月)</p> <p>▼農産保存食料品製造を行う有限会社ワールドファームが鳥取工場を竣工、土木基礎機械パーツ製造を行う富士基礎機械株式会社が第2工場を竣工(5・8月)</p> <p>▼倉吉市出身で国の重要無形文化財保持者(人間国宝)の大坂弘道さんが、9人目の倉吉市名誉市民に決定(6月)</p> <p>▼平成26年度から策定を進めていた「倉吉市中心市街地活性化基本計画」が内閣総理大臣の認定を受ける(6月)</p> <p>▼現在の関金小学校と山守小学校を統合し、平成28年4月に新「関金小学校」として開校することが決定(9月)</p> <p>▼倉吉駅から西倉吉バス停の区間で夜8時以降の乗合路線バスの運行が開始、北谷・高城地区で昼間の路線バスに代わる「予約型乗合タクシー」の運行が開始(10月)</p> <p>▼45年ぶりとなる平成27年秋巡業大相撲倉吉場所が倉吉体育文化会館で開催(10月)</p> <p>▼人口減少に関する諸問題に対応するため、地方創生の取り組みとして「倉吉市未来いきいき総合戦略」を策定(10月)</p>	<p>【海外】</p> <p>▼ギリシャで反財政緊縮派政権が誕生、財政危機が深刻化(1月)▼ネパールで大地震が発生(4月)▼米国とキューバが国交回復(7月)▼独自動車大手VWの排ガス規制不正が発覚(9月)▼中東から欧州に渡る難民が急増(9月)▼南シナ海で米イーゼス駆逐艦が中国人工島12カイル内を航行(10月)▼ミャンマーが総選挙を実施、国民民主連盟が圧勝(11月)▼パリで「イスラム国」による同時テロが発生(11月)▼COP21で「パリ協定」を採択(12月)▼アジアインフラ投資銀行が発足(12月)</p> <p>【国内】</p> <p>▼「イスラム国」が邦人2人を殺害(1月)▼選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立(6月)▼2020年東京五輪の新国立競技場建設計画、公式エンブレムを白紙撤回(7・9月)▼豪雨により鬼怒川が決壊、茨城などで8人が死亡(9月)▼集団的自衛権の限定的な行使を可能にする安全保障関連法が成立(9月)▼ラグビーのW杯イングランド大会で日本代表が3勝(9月)▼日米など12か国がTPPに大筋合意(10月)▼共通番号(マイナンバー)制度関連法が施行(10月)▼旭化成建材による大型マンションの杭工事データ偽装が判明(10月)▼大村智氏がノーベル医学・生理学賞、梶田隆章氏が同物理学賞を受賞(12月)</p>

年表(16)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2016(平成28)	<ul style="list-style-type: none"> ▼一般社団法人鳥取中部観光推進機構設立(1月) ▼株式会社モリタ製作所鳥取工場開所(3月) ▼架空都市「倉野川市」との姉妹都市提携締結(4月) ▼新『関金小学校』開校(4月) ▼「“くらしよし”ふるさとビジョン(第11次倉吉市総合計画後期基本計画)」「第5次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」「第5次くらし男女共同参画プラン」スタート(4月) ▼平成28年度全国高等学校総合体育大会自転車競技の部(トラック・レース)開催(7月) ▼第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園開催(9月) ▼日本初となるワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会開催(10月) ▼「鳥取県中部地震」倉吉市内で震度6弱を観測(10月21日) ▼万葉歌人の山上憶良が伯耆国に国守として赴任してから1300年となる今年度、記念プロジェクトを発足。講演会・シンポジウム、劇団による演劇、博物館での特集展など、イベントを開催(通年) 	<p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼北朝鮮初の「水爆実験」発表(1月)▼オバマ大統領88年ぶりキューバ訪問(3月)▼ミャンマー新政権発足(3月)▼パナマ文書公開で波紋(4月)▼英国民投票「EU離脱」(6月)▼国主導 露ドープینگ(7月)▼ノーベル文学賞ボブ・ディランさん(10月)▼カストロ前議長死去(11月)▼米大統領選でトランプ氏勝利(11月) ▼韓国朴槿恵大統領不祥事報道(12月) <p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼北海道新幹線開業(3月)▼地震多発(熊本地震4月、鳥取県中部地震10月、福島県沖地震11月)▼オバマ米大統領、歴史的な広島訪問(5月)▼18歳選挙権施行(6月)▼東京都知事に小池百合子氏(7月)▼「ポケモンGO」日本で配信開始(7月)▼障害者施設で19人刺殺(7月)▼天皇陛下、退位の意向示唆(8月)▼リオ五輪メダル41個(8月)▼大隅良典氏にノーベル賞(10月)
2017(平成29)	<ul style="list-style-type: none"> ▼県立美術館建設場所が倉吉市営ラグビー場に決定(3月) ▼第50回全農乾椎茸品評会で農林水産大臣賞を受賞(6月) ▼第11回全国和牛能力共進会で倉吉市の出品牛(者)が日本一(9月) ▼琴桜記念館入館者10万人達成！(7月) ▼深化するレトロ&クールツーリズム「アニメ聖地88、ジャパンツーリズムアワード受賞」(8月・9月) ▼成徳小学校竣工式(9月) ▼～源泉回帰～「関金温泉開湯1300年祭」開催(9月～10月) ▼新しい市議会議員17名が決定(10月) ▼全国「道の駅」シンポジウム開催(10月) ▼震災から1年、進む復旧・復興。地域が一丸となって取り組んだ鳥取中部復興祭開催(10月21日) ▼1月、2月の大雪、9月10月の台風により、住家、公共土木関係、農林水産施設、教育・文化施設などが相次いで被害(1月・2月・9月・10月) 	<p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼トランプ米大統領が就任(1月)▼金正男氏、マレーシアの空港で殺害(2月)▼韓国・朴大統領の罷免決定(3月)▼英政府がEU離脱を正式通知(3月)▼文在寅(ムン・ジェイン)前代表が就任(5月)▼仏大統領にマクロン氏、最年少39歳(5月)▼トランプ氏が「パリ協定」離脱表明(6月)▼北朝鮮が6回目の核実験、弾道ミサイルも相次ぎ強行(9月)▼メキシコ地震、死者369人(9月)▼米ラスベガスで銃乱射、58人死亡(10月)▼ノーベル文学賞にカズオ・イシグロ氏(12月) <p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼14歳棋士、藤井四段が29連勝の新記録(6月)▼天皇退位特例法が成立。2019年4月末退位、5月改元へ(6月)▼上野動物園でパンダ誕生(6月)▼眞子さま婚約内定(9月)▼衆院選で自民党圧勝。立憲民主党が野党第1党に(10月)▼陸上100メートル 桐生、日本人初の9秒台(9月)▼神奈川・座間のアパートで切断9遺体(10月)▼横綱日馬富士が暴行問題で引退(12月)
2018(平成30)	<ul style="list-style-type: none"> ▼石田市政3期目がスタート(3月) ▼円形劇場くらしフィギュアミュージアムがグランドオープン(4月) ▼復旧工事完了後、初の議場で議会開催(7月) ▼市や地元事業者、ファンが一緒になり『ひなビタ♪』((株)コナミデジタルエンタテインメント)と連携したまちづくりを推進するため『倉吉ひなビタ♪応援団』を結成(7月)、「訪れてみたい日本のアニメ聖地 88(2019年版)」に『ひなビタ♪』の聖地として2年連続で選定(10月) ▼鳥取看護大学大学院設置認可(8月) ▼上北条公民館が優秀館(全国で5館)に決定(10月) ▼震災から2年(10月21日) ▼倉吉市長ら市民交流団体が羅州市を訪問(10月) ▼スポーツクライミングアジア選手権などの大会開催(11月) ▼「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」主催の美術館フォーラムを開催(12月) 	<p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼朝鮮半島非核化、南北首脳が合意(4月、5月、9月)▼米がイラン核合意離脱、制裁再発動(5月)▼米朝が史上初の首脳会談(6月)▼インドネシア地震・津波、死者2000人以上(9月)▼韓国最高裁、徴用工への賠償命じる(10月)▼メルケル独首相「引退」(10月)▼米中間選挙、下院で民主党が過半数(11月)▼EU、英離脱協定を正式決定(11月) <p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼平昌五輪で最多メダル、日本選手団はメダル13個(金4、銀5、銅4)を獲得(2月)▼陸自「イラク日報」見つかり公表(4月)▼「働き方改革」関連法成立(6月)▼財務省が森友文書改ざん、20人処分(6月)▼大阪北部地震(6月)、西日本豪雨(7月)、北海道地震(9月)、災害相次ぐ▼オウム松本元死刑囚らの刑執行(7月)▼日産ゴーン会長を逮捕(11月)▼改正出入国管理法成立(12月)▼米国を除くTPP11が発効(12月)

年表(17)

西暦(年号)	おもなことから	社会のうごき
2019 (平成31～ 令和1年)	<ul style="list-style-type: none"> ▼鳥取看護大学第1期生卒業(3月) ▼モザイクアート設置で県立美術館の機運盛り上げ(3月) ▼「ダウン症の天才書家 金澤翔子展」を倉吉博物館で開催(4～5月) ▼倉吉市立図書館開館30周年(6月) ▼打吹回廊グランドオープン(7月) ▼スポーツクライミング日本代表、フランス代表合宿実施(7～8月) ▼路線バス再編、新たな運行スタート(10月) ▼倉吉銀座商店街振興組合と倉敷商店街振興連盟が「姉妹商店街提携」を締結(10月) ▼新天皇の御即位を祝し皇室とゆかりのある倉吉で記念展開催(10～11月) ▼倉吉市関金町星空保全地域指定及び星空保全照明基準の適用(10月) 	<p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼日朝首脳会談、ベトナムで開催(2月) ▼ノートルダム大聖堂大火災(4月) ▼香港大規模デモ(6月、8月、9月、11月) ▼英ジョンソン首相が就任(7月) ▼グレタ＝トウンベリさん国連でスピーチ(9月) ▼米、IS最高指導者を殺害(10月) ▼米、「パリ協定」離脱を国連に通告(11月) ▼アフガニスタンで中村医師殺害(11月) <p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼天皇陛下が即位 「令和」に改元(5月) ▼マリナーズ・イチローが引退表明(3月) ▼京都アニメーション放火、36人死亡(7月) ▼ゴルフ 渋野日向子が全英女子優勝(8月) ▼ラグビーW杯開催、日本ベスト8入り(9月～10月) ▼東日本で台風大雨被害、死者相次ぐ(9～10月) ▼消費税10%に引き上げ(10月) ▼吉野彰さんノーベル化学賞(10月) ▼沖縄 首里城で火事 消失(10月) ▼ローマ法王38年ぶり来日(11月)
2020 (令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> ▼新型コロナウイルス感染症の影響広がる(通年) ▼倉吉市役所第2庁舎オープン(1月) ▼上灘公民館が優良公民館表彰で優良館(全国で5館)に選ばれる(2月) ▼上小鴨小学校広瀬分校閉校(4月) ▼県立美術館の整備に向けて準備が進む(4～5月) ▼第2期倉吉市中心市街地活性化基本計画始動(4月) ▼夏季鳥取県高等学校野球大会で倉吉東高等学校が優勝(7月) ▼名誉市民の大坂弘道氏逝去(9月) ▼歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進に向けた連携協定締結(10月) ▼フィギュアやコンテンツを活用した街のにぎわいづくり進む(10月) 	<p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼英国がEU離脱(1月) ▼WHO、新型コロナウイルスのパンデミック表明(3月) ▼全米で人種差別抗議デモ(5月) ▼米国で民間初の有人宇宙船打ち上げ(5月) ▼香港の国家安全維持法が施行(6月) ▼核兵器禁止条約発効へ(10月) ▼米大統領選でバイデン氏勝利(11月) ▼RCEP署名、アジアに巨大経済圏(11月) <p>【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼東京五輪・パラ 1年延期(3月) ▼高校野球が春夏中止。プロスポーツ界でも延期や中止相次ぐ(3月) ▼新型コロナウイルス感染拡大、初の緊急事態宣言(4月) ▼レジ袋有料化スタート(6月) ▼九州で豪雨、死者多数(7月) ▼藤井聡太七段 最年少二冠(7月) ▼GDP年率換算27.8%減、戦後最大の下落(8月) ▼安倍首相 辞任表明(8月)、菅首相誕生 新内閣発足(9月) ▼立皇嗣の礼(11月)

